

進路だより

2023. 3. 9

第 6 8 号

香川東部養護学校

進路指導部

小学部 12 名、中学部 9 名、高等部 18 名の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。日々の学習、部活動、行事など学校生活では、最上級生として皆を引っ張ってくれる頼もしい存在でした。4 月からはそれぞれ、中学生、高校生、そして大人としての新たな一步を踏み出します。今まで培ってきた力を最大限に発揮し、新たなステージでも輝けることを願っています。



高等部卒業生の進路先一覧

就労形態	進路先	地域	主な仕事・活動内容
一般就労	段ボール製造加工会社	東かがわ市	台紙の折り曲げ、小箱の組立、糊付け、ラベル貼り
	熱絶縁工事会社の水産事業部	三木町	メダカの飼育、水槽やバケツの洗浄
	運送会社	高松市	荷物の仕分け、運搬
就労継続支援 A 型	ゆうちゃん村	東かがわ市	アスパラガス等の野菜の栽培、収穫、出荷など
就労継続支援 B 型	ゆうちゃん村	東かがわ市	アスパラガス等の野菜の栽培、収穫、出荷など
	さざんか園	さぬき市	銅線の解体、袋の仕分け、菓子の袋詰めなど
	きんりん園	さぬき市	袋の紐通し、テープ貼り、菓子の袋詰めなど
	みきの家	三木町	封入作業、シーラー止め、施設外清掃など
	氷上ファクトリー	三木町	ウォーターサーバーの掃除、封入作業など
	もえぎの里	高松市	パンの袋詰め、ラベル貼り、菓子製造の補助など
	ドリーム	高松市	ボルトナット、袋の持ち手付け、ネギの選別など
	トライアングル	高松市	ボルトナット、箸入れ作り、農作業など
	かがやき	高松市	ボルトナット、ビス入れ、箱折りなど
生活介護	東香川障害者自立支援センター	東かがわ市	リサイクル作業、ウォーキング、入浴など
	のぞみ園	さぬき市	体操、ウォーキング、制作活動など
	ゆめぽけっと	さぬき市	体操、ウォーキング、軽作業、創作活動など
	トライアングル	高松市	ウォーキング、軽作業、音楽鑑賞など

小学部

小学部では、将来必要な習慣、スキルを身に付けられるように日々の学習に取り組んでいます。係活動や掃除などの取り組みを通して、集団での役割を意識したり、友達と協力をしたりすることの大切さを学習しました。今回は低学年の取り組みについて紹介します。

1年生



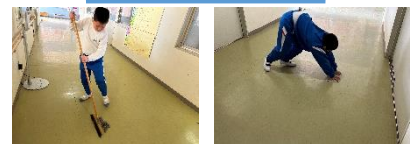
学級内での役割を分担して、係活動に取り組んでいます。ごみ捨てや献立表作りなど、日々の生活や朝の会で確認する表の作成などを毎日行っています。子どもたちは「ぼく・わたしのお仕事はこれ!」と自分の役割をしっかりと自覚して、主体的に取り組むことができています。

2年生



友達と一緒に作品を作ったり、優しい言葉をかけ合ったりする、ふわふわ言葉・行動の学習をしました。友達と一緒に大きなパーツを運んでツリーを飾り付けたり、鬼の福笑いをしたりしました。一人では難しいことでも、友達と協力すると成し遂げられることを学ぶことができました。

3年生



日々自分たちが使う教室や階段、廊下などを、ほうきを使って掃いたり、雑巾がけをしたりして掃除をしています。適切な道具の扱い方、効率のよい掃き方、拭き方などの基本的な掃除のスキルを身に付けられるよう、毎日取り組んでいます。

中学部

中学部では、2、3年生が年に1回、「社会見学」を行い、進路に関する学習をしています。その様子を紹介します。

2年生

2月14日(火)、初めての社会見学として、就労継続支援B型「ほのぼのワークハウス」へ行ってきました。卒業された先輩方がどんなふうにいるのか見たり聞いたりすることが、今回の見学の大きな目的でした。電線の分解や薬膳茶の包装、クッキー作りに、手を休めることなく集中して取り組む先輩方の働く姿勢を、多くの生徒が緊張した面持ちで見っていました。ねぎや葉物がたくさん栽培されている農園でおいしい野菜を収穫していることも教えていただきました。施設長さんからは、いきいきと働くために必要な心構えや体力、また学校生活を送る間に身に付けておくべきことなどを、分かりやすく話していただきました。それぞれに、自分の進路を思い描くきっかけになったと思います。



3年生

6月30日(木)、2グループに分かれて「香川大学農学部附属農場」と就労継続支援B型「きんりん園」へ社会見学に行ってきました。農場では、本校高等部の先輩方が働いている姿や広大な施設を見学したり、職員の方に質問をしたりしました。きんりん園では、利用者さんが働く姿や施設を実際に見たり、実習に来ていた先輩から実習の大変さなどの貴重な話を聞いたりすることができました。生徒からは、「先輩たちが熱い中、集中して作業していてかっこよかった。」「来年は高等部になるのでしっかり働きたい。」などの感想が聞かれました。

働くうえで大切なことや、身に付けておきたいことについて考える良い機会になりました。



高等部

10月17日から28日まで、1年生は校内にて職業週間、2年生は学校近郊の企業や事業所にて集団での現場実習に臨みました。職業週間では、ボールペンの組立分解作業や木工作業、リサイクル作業や配膳作業など、8つの作業に分かれて取り組みました。現場実習では、徒歩や自転車、公共交通機関の利用など、実習先に応じた通勤方法の確認、勤務時間や作業内容の把握など、実習に備えた学習にも取り組み、準備や計画の大切さも学んでいます。作業学習や職業の授業などで培ってきた力や前期に経験したことを活かして、集中力や体力、作業技術の向上を目指し、友達と切磋琢磨しながら取り組むことができました。

高1 職業週間の様子

みんなの給食、
こぼさないように丁寧に…。



力をこめて、
1, 2の3!
できたーっ!!



高2 現場実習の様子

細かな作業も
集中して取り組むべし。
真剣な眼差しです!



刃物を使う作業も任されます。
ドキドキ…。
安全第一でがんばります!



高2 職場見学

＜3組＞ 2月7日（火）に職場見学に行きました。高松圏域方面で、活動内容の違う就労継続支援B型と生活介護、グループホームを併せ持つ福祉サービス事業所の2か所をそれぞれ見学しました。見学をしながら、自分が実習してもできるかなとイメージすることで、3年生での実習に向けての参考にすることができました。



コンサフォスでは、それぞれの部屋に分かれて工夫しながら仕事に取り組んでいました。グループホームもきれいでした。



サンでは、おいしいパンを作るために、みんな集中して一生懸命働いていました。

＜1、2組＞ 2月16日（木）、高松方面へ職場見学に行きました。いろいろなタイプの働く場所や卒業後の生活拠点であるグループホームを見学し、高等部3年生に向けて、自分の進路について考える良い機会をもつことができました。

＜行き先＞

- ・株式会社トーカイ（一般企業）
- ・かがわ総合リハビリテーション事業団 成人支援施設（生活訓練・就労移行支援）
- ・社会福祉法人やまびこ会 Do やまびこ 障がい者福祉サービス事業所 田村事業所
（生活介護、就労継続支援B型、就労継続支援A型）
- ・社会福祉法人やまびこ会 Do やまびこ 障がい者福祉サービス事業所 鹿角事業所（グループホーム）



株式会社トーカイでは、ホテルで使用するタオル類を、機械を使って畳み、出荷準備をする作業や、病院で使用された検査着などを機械で乾燥、アイロンがけをする作業を見学しました。就職後、勤続10年の職場の方が、この仕事を今のレベルでできるようになるのに5年かかったという話を聞き、仕事をしながらも、日々成長するために努力していることを知ることができました。



かがわ総合リハビリテーション事業団成人支援施設では、パソコンを使ったタイピング練習とテープ貼りや三つ折りなどの軽作業を実際に体験しました。どの作業も学校で学習しているとき以上に真剣な表情で取り組んでいたのが印象的でした。学校を卒業した後にも、自分を高めていくために学ぶ場所があることを知ることができました。



Do やまびこでは、昼食にA型事業所で製造されているうどんを食べ、その後、グループホームを見学しました。実際に部屋の様子を見せて頂いたり、グループホームを利用するためには、どのくらいのお金が必要かという話を聞いたりして、卒業後の生活についてイメージすることができたと思います。さらに、B型事業所でのうどん菓子製造、袋詰め作業の様子や生活介護での活動の様子を見学させて頂きました。

進路指導部

ぎのうぶ

技能部を知っていますか？



頑張っています！

香川東部養護学校では、課外活動として「競技部」、「文化部（音楽部）」、「技能部」が活動しています。今回は技能部の活動について紹介したいと思います。

技能部は、今年度、高等部の生徒8名が所属し、2月に開催される香川障害者技能競技大会（アビリンピックかがわ）への出場に向けて、夏休みから練習に取り組んできました。大会ではいくつかの競技がありますが、本校からは、「ビルクリーニング競技」「縫製競技」「オフィスアシスタント競技」「パソコンデータ入力競技」の4競技に5名の生徒が出場しました。大会では、練習してきた力を存分に発揮して、他の出場選手の方々と競い合い、最後まで集中して頑張ることができました。その結果、高等部2年生の生徒2名が、パソコンデータ入力競技で銀賞、ビルクリーニング競技で銅賞を獲得することができました。

技能部の活動を通して、競技力の向上を目指すとともに、卒業後の社会的、職業的自立の基盤を養うことも目標にして取り組んでいます。

香川県障害者技能競技大会に出場しました！ （アビリンピックかがわ2022）



ビルクリーニング競技では、マニュアルに沿ってオフィス内（床、フロア）の清掃を行い、速さや正確性を競います。



パソコンデータ入力競技では、カード記載のデータを画面に入力したり、データの確認や修正、帳簿の作成をしたりします。



縫製競技では、裁断済みの材料を、ミシンを使用して1枚のエプロンに仕上げます。



オフィスアシスタント競技では、文書や封筒を仕分けたり、三つ折りして封かんしたりする作業に取り組みます。

令和4年度香川県障害者技能競技大会 入賞者表彰式



後日、香川県庁で行われた表彰式で、県知事さんから賞状とメダルを頂きました。

☆ 卒業後の「追指導」について

本校では、卒業生に対して、高等部卒業後の職業生活や家庭生活が順調に進められるように、関係支援機関と連携し、「追指導」を行っています。主に、卒業後すぐの3月、4月、夏季休業中の時期に、就職先の企業や通所する福祉サービス事業所等を訪問し、在学中や現場実習では見られなかった課題や困りごとがあれば、職場の方、本人、保護者、関係支援機関の方々と情報交換を行い、適切なアフターケアをしていきます。おおむね、卒業後3年間は、相談があれば、随時、進路指導主事を中心に訪問等をして対処するようにしています。また、追指導を行う中で得た情報は、職員間でも共有し、在校生のキャリア教育や進路指導に役立てるようにしています。

なお、高等部3年生の進路や卒業後の生活は、一人一人違います。そのため、「個別的教育支援計画（移行支援用）」を作成し、1月末の移行支援会議において、今後も引き続き必要と思われる支援内容や将来の展望等について、支援機関の方々と情報の共有や引き継ぎを行います。円滑な支援の移行ができるように、しっかりと連携しサポート体制を整えることで、卒業後の新生活に備えています。



☆ 今年度の進路先訪問（追指導）での企業や事業所の方々からの声

【雇用後または通所後に成長したところ、良かったところ】

- ・仕事に対して余裕が出てきた。周りを見て、自分から行動ができるようになった。（老人介護施設）
- ・挨拶や返事の声が良い。新しい仕事にも挑戦し、覚えようと頑張っている。（うどん店）
- ・仕事量が増えた。休憩までの作業時間内、同じペースで仕事ができている。（食品加工会社）
- ・利用を始めた頃は休むこともあったが、今ではほとんど休まなくなった。（就労継続支援B型事業所）
- ・誰とでも仲良くでき、明るく接してくれる。ムードメーカーになっている。（生活介護事業所）

【雇用後または通所後に出てきた課題や問題点】

- ・分からないことも「はい」と返事をしてしまい、後で自分が困ってしまうことがある。（老人介護施設）
- ・慣れていくにつれて仕事への意欲が低下してきた。不適切な態度を見せることもある。（官公庁）
- ・聞きたいことや悩みごとがあれば、自分から話をして相談してほしい。（造船会社）
- ・午後、眠そうにする。休憩時間のスマホの使用で、作業開始に遅れることがある。（就労移行支援事業所）
- ・家庭とのコミュニケーションが取りにくい。（生活介護事業所）

【在学中に身に付けておいてほしいこと】

- ・単純作業でもこつこつ取り組む力。挨拶、身なり、態度など社会人として基本的なこと。（食品加工会社）
- ・真面目に学校生活を送り、勤務できるだけの体力と手先の力をつけておく。（金属加工製造会社）
- ・仕事のペース配分ができること。丁寧さは要るが、時間をかけすぎない場合もある。（老人介護施設）
- ・自分の勤務シフト（任された役割）を守り、休まず出勤できる。（就労継続支援A型事業所）
- ・仕事に対するモチベーション。工賃をもらったら何に使うかを考えられる。（就労継続支援B型事業所）
- ・利用中に一人で過ごす、一人で遊ぶ力。言葉以外でも意思表示できる手段。（生活介護事業所）

これらの貴重な声を受けて、在学中のキャリア教育の大切さを再認識しました。進路先の就労形態に関わらず、大事なことは、①基本的な生活習慣の確立 ②心身の健康、体力 ③良好な人間関係の構築、コミュニケーション ④作業の力 ⑤働く意欲や責任感であると考えます。また、本校の進路指導のねらいとして、学校卒業後および将来の自立と社会参加に向けて3つの力（働く力、生活する力、余暇を楽しむ力）の育成を挙げています。ただ、これに近道はありません。日々の学習や生活経験の小さな積み重ねが、やがて大きな成長につながります。引き続き、学校、家庭、関係支援機関が連携し、子どもたちのキャリア発達を支援していきたいと思っております。よろしくお願いします。

進路指導主事 中川範夫

